

先週の回答



「今日は孔子について論じる。孔子を知つとるか」
 「会ったことはありません」
 「会えないよ、死んじゃった人だから」
 「どこに住んでた人なんですか」
 「中国に居た人だ。孔子の『論語』、読んでことないのか」
 「ありません」
 「するとこの『盗泉之水（とうせんのみず）』の意味を知らんな」
 「『論語』を書いた孔子という中国の立派な学者が、盗泉という所を通りかかった時」
 「つて、いつですか？」
 「むかしだよ。いつだったかは問題でな

いから、こだわるな」
 「わかりました。通りかかった時どうしたんですか？」
 「のどがかわいたんだ」
 「どうしてですか？」
 「水が飲みたかったからだ」
 「で、どうしたんですか」
 「先生に水を飲ませようと、弟子が水を汲んできたんだ。しかし孔子はその水を飲まなかった」
 「なぜですか？ のどがかわいてたのに」
 「盗泉の名を嫌って水を飲まなかったんだ」
 「それが？」
 「『渴（か）』しても盗泉の水は飲まず』という名言になって残ったんだ」



「それはもしかして、盗泉という名前が嫌で飲まなかったんですね、ナンセンス」
 「なんで？」
 「偏見です。差別です。盗泉だろうが、大泉だろうが、小泉だろうが、水は水です。どんな所の水でも、水に変わりがあるじゃなし、溶けて流れりやみな同じです」
 「むーん、一理あるが、これは有名なことばなんだがなあー」
 「孔子のことばに『同而不和（動じて和せず）』というのがあります。主体性がなく無定見にすぐ同調するのはよくないという意味です。先生のように」
 「むーん、一理ある」

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。